

考える、語り合う No.30

一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 まず考える、つぎに語り合う

令和4年2月10日
長崎市立川原小学校
学校だより
校長 寺田 成広

まん延防止等重点措置の延長をうけて

本県の新規陽性者数は、高止まり状態です。3月6日(日)までの延長がほぼ決定したことをうけて、本日、今後の行事等の見直しについての文書を配布しています。ぜひご覧いただき、確認をお願いします。

コロナウイルス感染防止にかかわって、もう1点連絡をします。

最近、登校後に体調不良を訴え、検温によって発熱が認められるケースが続いています。直ちにご家庭に連絡していますが、お忙しい中にご都合をつけて早めにお迎えに来ていただいています。ご理解とご協力に感謝しています。

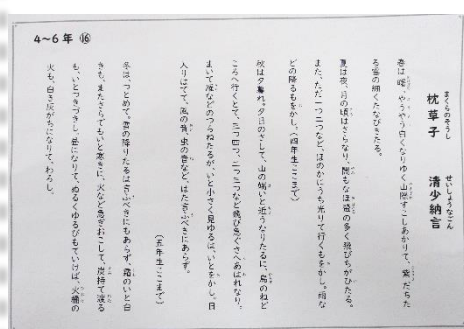
ここで問題となるのが、『きょうだいが在籍している場合』です。登校前に、家庭内に風邪症状が出ている家族がいる場合は、登校を控えるようお願いしています。登校後に風邪症状が確認されたとしても、現在は、「朝の時点で保護者が健康観察によって登校を可としたのであり、登校後に接触がないきょうだいは、早退させない」という考え方をとっています。つまり、家庭での状態、健康観察を最優先しています。

逆に言うと、もし、「登校を可」とする保護者の明確な判断なく登校して風邪症状が出た場合は、早退にきょうだいも含めないといけなくなります。朝の健康観察(検温)を確実に行っていただき、「登校可」の判断を、保護者が記入したカードで示して送り出してください。

音読のススメ ～名文暗唱の取組～

昨日、一昨日は、校長室に「枕草子」第一段を唱える6年生の声が響きました。

川原小学校に赴任した際に、1階トイレ横の掲示板を「校長用」として割り当ててもらったので、一画に「名文暗唱コーナー」を設けました。日本語の美しさや響きの心地よさ、表現の巧みさ等を感じてもらいたいというねらいからです。校長として、何かしら子どもたちの学びに直接関わりたいという思いもありました。



初めは、「名文音読コーナー」として、音読してほしい文章を時々入れ替えながら掲示していこうと考えていました。しかし、せっかくなら暗唱して、いっそう深く文章に浸ってほしいと思い、途中で変更しました。

強制しているわけではないため、学級全体で取り組んでいる6年生や、言葉のリズムを楽しんでいる低学年が時々校長室に暗唱しに来る程度ですが、私が本校にいる間は続けていこうと思っています。「声に出して読みたい日本語」の著者、斎藤孝先生は、『音読』というのは、日本語を味わうための『王道』というべきもの」と述べています。

「音読によって、脳の前頭前野が活性化すること、東北大学川島隆太先生の研究で明らかになっています。子どもたちにぜひ数多くの音読を勧めましょう。

もちろん音読は、私たち大人にとっても良いものです。私は、前述の斎藤先生の著書「50歳からの音読入門」(海竜社)を10年程前に購入して、時々音読しています。半強制的に覚えろと言われた中高生時代と違って、文章の味わいや作品背景に思いが至って楽しめています。

裏面に音読資料リストを載せていますので、興味を持った題名は検索して原文を取り寄せて、親子で音読してはいかがでしょうか。

高学年用リスト

- ① 星とたんぼぼ:金子みすず
- ② 竹:萩原朔太郎
- ③ 道程:高村光太郎
- ④ 花:武島羽衣
- ⑤ 偶成:朱熹
- ⑥ 吾輩は猫である(冒頭):夏目漱石
- ⑦ 寿限無
- ⑧ 俳句7選:正岡子規
- ⑨ 俳句8選:松尾芭蕉
- ⑩ 俳句9選:小林一茶
- ⑪ 坊ちゃん(冒頭):夏目漱石
- ⑫ 竹取物語(冒頭)
- ⑬ 蜘蛛の糸(冒頭):芥川龍之介
- ⑭ 雨ニモマケズ(前半):宮沢賢治
- ⑮ 雨ニモマケズ(後半)
- ⑯ 枕草子(第一段):清少納言
- ⑰ 春望:杜甫

低学年用リスト

- ① おちゃわん:まどみちお
- ② 風の又三郎(冒頭):宮沢賢治
- ③ 大漁:金子みすず
- ④ あいうえお・ん:鶴見正夫
- ⑤ 付け足し言葉
- ⑥ てつぼう:まどみちお
- ⑦ ことばのけいこ:与田準一
- ⑧ 水のこころ:高田敏子
- ⑨ あいたくて:工藤直子
- ⑩ 寿限無
- ⑪ きまりことば:阪田寛夫
- ⑫ つもった雪:金子みすず
- ⑬ 和風月名 春の七草
- ⑭ わたしと小鳥とすずと:金子みすず